

着衣では正確に診断 できない病気があります



思春期特発性 側弯症

背骨が左右に曲がる病気で、症状が進むと背中や腰の痛みが出現。早期発見できないと手術が必要になることも。

思春期特発性側弯症は11歳以上で起こり思春期に進行します。圧倒的に女子に多く、女子全体の2%が該当⁽³⁾します。緩やかに進行するため思春期には症状は出ず気づかれないので、健診で見つける必要がありますが、学校健診でないとなかなか漏れなく見つけるのが難しい病気です。服を着ている状態だと評価が非常に難しいです。運動器検診開始後、学校検診で発見された割合は75%で、運動器検診開始前の44%よりも改善し、また発見時年齢も下がっており、早期発見に繋がっています⁽⁵⁾。

学校健診では
こんなことを
チェックしています



背中が評価できればよいので、前は隠れていても問題ありません。



聴診の問題

正確な音を識別することが非常に重要！

正確な音を識別することが非常に重要です。衣類を着用すると、医師が聴く必要のある音が聞こえにくくなったり歪んだりするため、心雑音や呼吸音を正確に捉えることが難しくなるのです。上半身裸である必要はなく、肌着を着用していれば衣服の下に潜り込ませて聴診することが可能です。体操服の上からの聴診は布が分厚いので正確な聴診は難しいというのが本音です。

上半身裸である必要はなく、肌着を着用していれば衣服の下に潜り込ませて聴診することが可能です。

こんなことが見つかります

● 心音や心雑音のチェック ▶ 心臓の病気

心臓の病気を発見するきっかけに。



● 呼吸音のチェック ▶ 喘息などの慢性呼吸器疾患

子どもたちの学校生活のためにも慢性呼吸器疾患のスクリーニングが重要。喘息は程度が軽いと見過ごしていることもありますが、喘息の管理が不十分だと、子どもの学業成績が悪化したり学校の欠席日数の増加につながるとの報告も⁽⁸⁾。



皮膚の問題

コントロール不良の湿疹や虐待の痕跡が見つかる

こんなことが見つかります

- 湿疹 アトピー性皮膚炎などの湿疹がコントロールできているかチェック
- 虐待 健診ですべて発見できるわけではありませんが、身の回りの清潔さや本人の様子の観察と合わせてネグレクトなどを疑うきっかけに。

一緒に子どもの健康と幸せを守ろう！

